

Sx500シリーズスタックابلスイッチの中央処理装置(CPU)使用率の設定

目的

管理者は、SX500シリーズスタックابلスイッチのCPU使用率を常に監視する必要があります。これは、過剰なトラフィックがCPUに負荷をかけないために行われ、スイッチのダウンが遅くなる可能性があります。スイッチが処理するトラフィックの種類は、管理トラフィック、プロトコルトラフィック、およびスヌーピングトラフィックです。CPU使用率は、スイッチのCPU使用率を監視する方法です。

この記事では、Sx500シリーズスタックابلスイッチの中央処理装置(CPU)使用率の設定方法について説明します

該当するデバイス

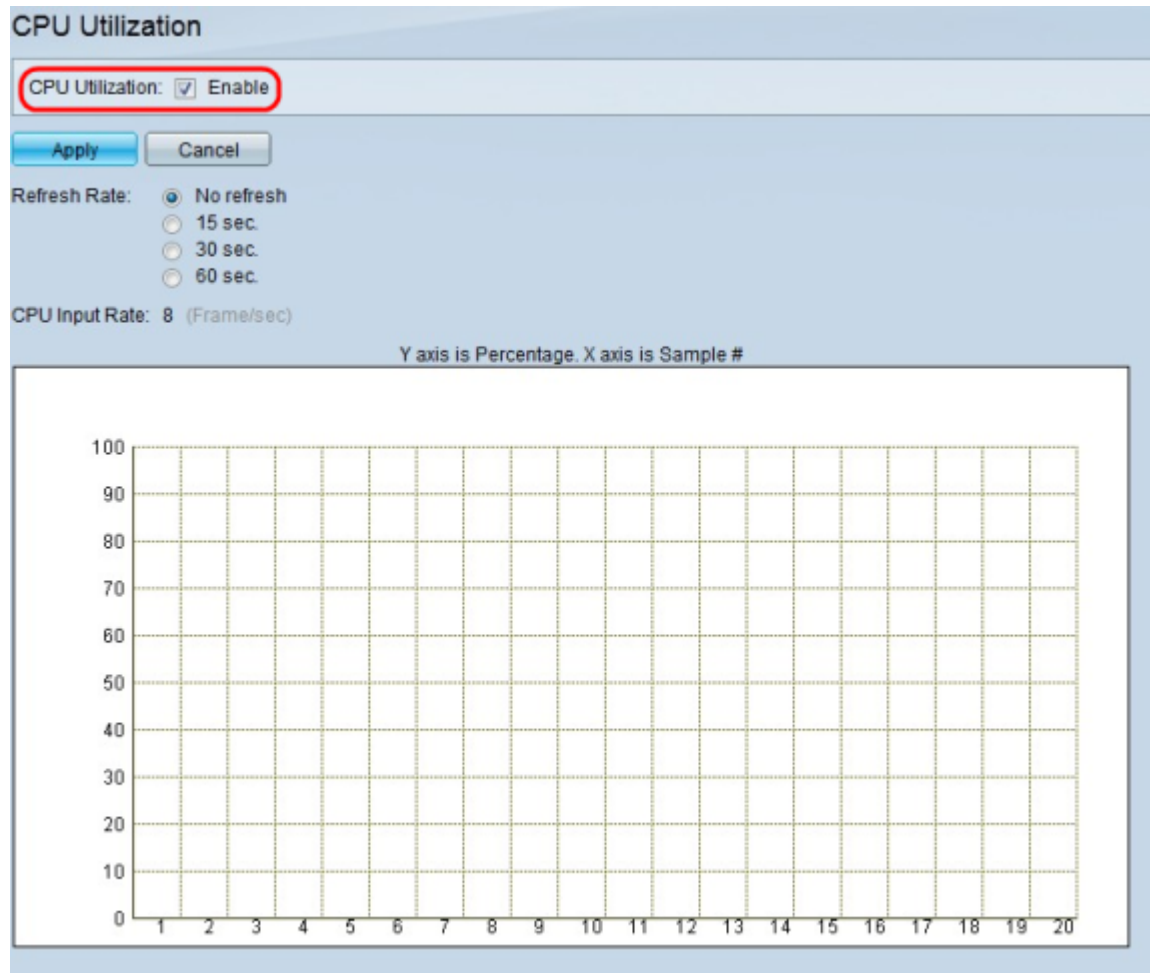
- ・ Sx500シリーズスタックابلスイッチ

[Software Version]

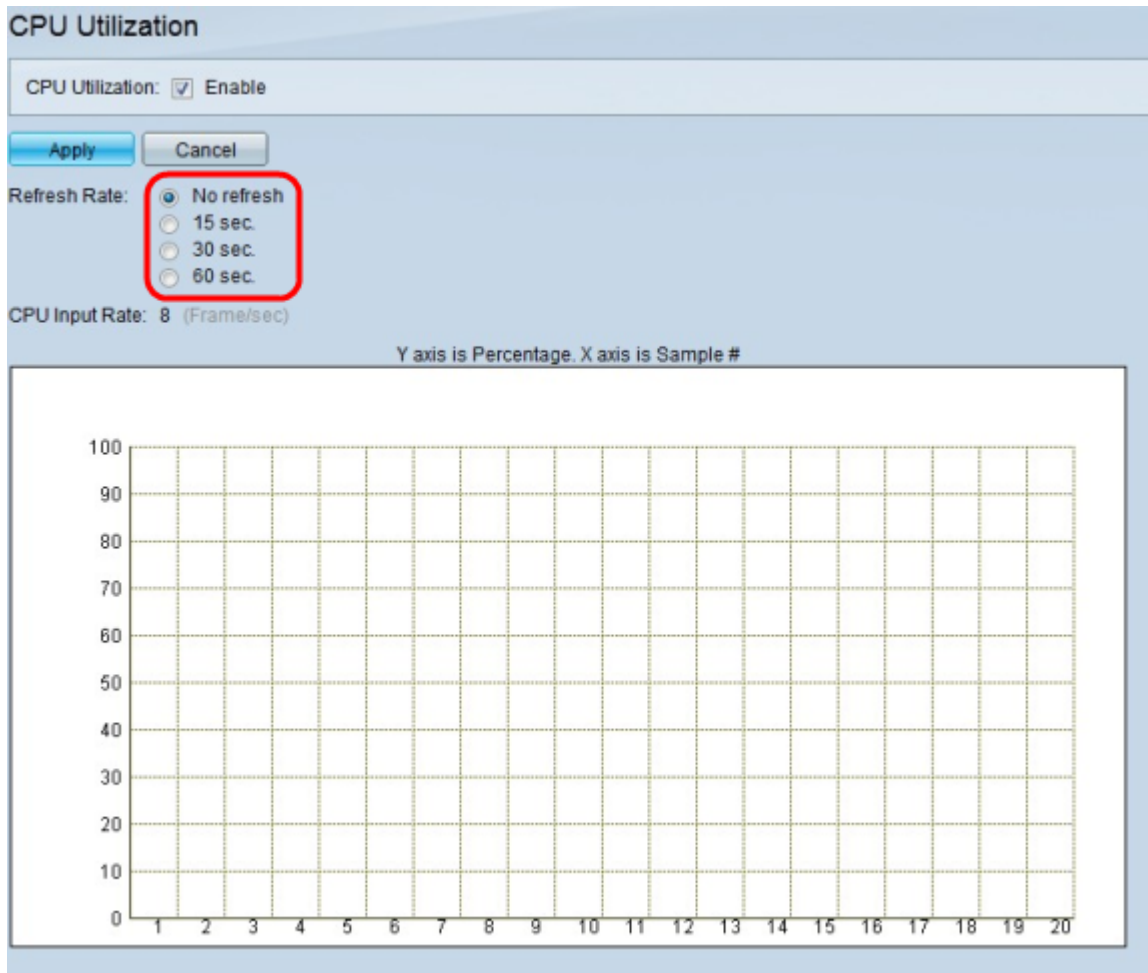
- 1.3.0.62

CPU使用率の設定

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Administration] > [Diagnostic] > [CPU Utilization]を選択します。[CPU Utilization]ページが開きます。



ステップ2:[CPU Utilization]フィールドで、[Enable] をオンにしてCPU使用率の監視を有効にします。デフォルトはオンです。



ステップ3:[Refresh Rate]フィールドで、[CPU Utilization]グラフの希望のリフレッシュレートに対応するオプションボタンをクリックします。リフレッシュレートを選択すると、データのストリーミングが開始されます。

- ・ 更新なし – CPU使用率サンプルは取得されません。
- ・15 秒.— CPU使用率のサンプルは15秒ごとに取得されます。
- ・30 秒.— CPU使用率のサンプルは30秒ごとに取得されます。
- ・60 秒.— CPU使用率のサンプルは60秒ごとに取得されます。

注：[CPU Input Rate]フィールドには、CPUが受信する1秒あたりのフレーム数が表示されます。使用率は、Y（垂直）軸をCPU使用率のパーセンテージとして、X（水平）軸をサンプル番号としてグラフに表示されます。小規模な展開では、通常のパーセンテージは50%を下回りますが、大規模な展開では、高いパーセンテージを通常にすることができます。スパンニングツリー、IPルーティングテーブルの更新、Cisco IOSコマンド、およびブロードキャストストームなどのプロセスにより、高いCPU使用率が発生する可能性があります。

ステップ4:[Apply]をクリックして設定を保存します。